
特定非営利活動法人 わおん 令和7年(2025年)度 事業報告書

2025年4月1日～2026年3月31日

こどもたちがもっと元気に輝く地域に！

NPO法人 わおん♪



〒399-0704 長野県塩尻市広丘郷原685

TEL : 0263-87-3005 FAX:0263-87-4024

E-mail : waon@npowaon.com

<http://npowaon.com>

わおん 松本平

検索



2025年度事業の成果・総括

- ・げんすけの森柏茂交流会館やハイジの森を会場に、主催事業で合計延べ921名に様々な体験活動を提供することができた。
- ・塩尻市こども未来課から「こども・若者いけんひろば」のワークショップの依頼が継続しており、全8回のうち6回を担当した。

♪事業の実施に関する事項

— 特定非営利活動に係る事業 —

1：環境と子どもに関わる体験事業

1-1 わおん♪自然探検隊/主催事業

(子どもゆめ基金助成事業／2010年度より継続事業)

日程：

4月12日	第1回	入隊式	参加者32人 スタッフ10人
5月10日-11日	第2回	春のキャンプ①	参加者15人 スタッフ10人
6月7日-8日	第2回	春のキャンプ②	参加者12人 スタッフ8人
7月12日	第3回	外あそびの達人になろう	参加者17人 スタッフ8人
8月1日-3日	第4回	夏のキャンプ	参加者22人 スタッフ10人
9月13日	第5回	森でつくろう	参加者20人 スタッフ7人
11月8日-9日	第6回	秋のキャンプ	参加者14人 スタッフ10人
12月20日	第7回	里山のクリスマス会	参加者22人 スタッフ8人
1月17日	第8回	冬の森であそぼう	参加者22人 スタッフ11人

会場：げんすけの森柏茂交流会館、上小曾部転作促進研修センター

参加者：小学校3年生～中学校3年生 延べ176人（↓55人）※前年比

こどもたちがもっと元気に輝く地域に



スタッフ数：延べ82人（↓8人）

事業収益：1,799,031円（↑173,236円）

（子どもゆめ基金845,581円、参加費収入953,450円）

成果：・2010年度から活動をはじめ、16年目となった。参加者が減ったが、全体としては程よい人数になった。

- ・夏と秋のキャンプは2回に分けるのをやめたため、収入は多くなった。
- ・探検隊を卒業した高校生がスタッフとして関わってくれた。

課題：・2025年度は、学校へのチラシ配布ができなくなったことにより、参加者が減った。特に新規の参加者が9人で少なかった。今後のことを考えると、参加者が減ってしまうことが予想されるので、新規の参加者を見つけていきたい。

1-2 森カフェプロジェクト（ハイジの森）/主催事業

（信州環境カレッジ2019年度～、緑の募金公募事業2023年度～

／2015年度より本格実施事業）

◆通常森カフェ

4月～3月 25回（↑7回）

参加者 0歳～保護者まで 延べ 125人（↑29人）

◆森カフェイベント：

ウェルネスウォーク

5月14日（水）参加者4名 / 7月2日（水）参加者10名

9月11日（木）参加者13名 / 10月3日（火）参加者9名

11月11日（火）参加者8名 / 11月26日（水）参加者6名

2026年1月31日（土）参加者大人7名、こども1名

2026年2月21日（土）参加者大人9名、こども2名

実施回数：8回（±0回） 参加者合計 69人（↑21人）

会場：ハイジの森（イベントは、上小曾部転作促進研修センターも利用）

事業費：

◆通常森カフェ

参加費：57,000円（↑14,600円）

◆森カフェイベント

参加費：290,250円（↑124,040円）

助成金：緑の基金 200,000円

こどもたちがもっと元気に輝く地域に



成果：・森カフェの本格開催から10年目。

- ・通常の森カフェは、土日は他の事業と重なっても、なんとか森カフェを開催できている。参加者が少し増えた。
- ・事前予約を継続しておこなっている。参加者がいないときは開催しなくてよいので、今後もこの方式で継続していきたい。
- ・森カフェイベントは、平日開催のウェルネスウォークを継続しておこなった（3年目）。リピーターが友達を誘ったりして、参加人数が大幅に増えた。定員を超える回もあり、11月は2回に分けて実施した。緑の基金を活用して実施したことで、内部講師の謝礼が払えるようになった。

課題：・通常森カフェは、参加者が少し増えたものの、土日、平日ともに参加者が少ない状況。開催予定日は、年50回ほどあるが、実際に開催する回数は25回と半分程度となっている。開催するときでも、参加者が1人や1組ということが少なくない。学校アプリ、新聞、広報塩尻などを活用しPRを強化していく。

・森カフェイベントは、緑の基金が最終年であった。次年度は助成金をとらずに実施してみることにした。内部講師の謝礼が満足に払えない場合は、今後の助成金活用を検討する。

1-3 県外・市外の子どもたち向けのキャンプ実施

◆わおん♪キャンプの実施/主催事業

(2017年度より継続事業)

4月19日(土)-20日(日) 動物キャンプ

参加者 8人 保護者1名 スタッフ6人

4月26日(土)-27日(日) わおん♪アウトドアクッキングキャンプ

参加者 16人 保護者2名 スタッフ10人

5月17日(土)-18日(日) わおん♪ツリーハウスキャンプ

参加者 20人 保護者1名 スタッフ8人

6月21日(土)-22日(日) わおん♪アナログゲームキャンプ

参加者 15人 スタッフ9人

6月28日(土)-29日(日) わおん♪クラフトキャンプ

参加者 17人 スタッフ8人

7月19日(土)-20日(日) わおん♪川あそびキャンプ

参加者 24人 保護者1人 スタッフ9人

8月23日(土)-24日(日) わおん♪川あそびキャンプ

参加者 20人 保護者1人 スタッフ9人

8月30日(土)-31日(日) わおん♪ツリーハウスキャンプ

参加者 18人 スタッフ10人

こどもたちがもっと元気に輝く地域に



9月6日(土)-7日(日) わおん♪ツリーハウスキャンプ 特別編

参加者 14人 保護者2名 スタッフ7人

9月20日(土)-21日(日) わおん♪アウトドアクッキングキャンプ

参加者 25人 スタッフ9人

9月27日(土)-28日(日) わおん♪ツリーハウスキャンプ

参加者 22人 保護者1人 スタッフ10人

10月18日(土)-19日(日) わおん♪星空キャンプ

参加者 18人 保護者2人 スタッフ9人

2026年3月21日(土)-22日(日) わおん♪星空キャンプ

参加者 9人 スタッフ7人

2026年3月28日(土)-29日(日) わおん♪ツリーハウスキャンプ

参加者 16人 保護者1人 スタッフ8人

会場：げんすけの森柏茂交流会館

実施回数：14回(↑2回)

事業収益：参加費 4,063,200円(↑1,001,500円)

参加者 242名(↑62名)、保護者12名(↓4名)

スタッフ数：延べ119名(↑29名)

※ひとり親家庭福祉事業補助金を活用し、ひとり親の参加者は補助金活用により参加費の補助をおこなった(2件)

成果：・参加者が増え、収益がアップした。

・高校生スタッフが手伝ってくれた。

・ひとり親家庭の参加費補助をおこなった。件数は少なかったが、喜んでもらった。

課題：・2025年度のキャンプは、18人の定員を割るキャンプが7本あった。平均の参加者は、17.3人/本。

・継続して、松本市・塩尻市・岡谷市・辰野町の各教育委員会の後援をとったが、チラシを児童全員に配布できたのは、安曇野市と辰野町となった。岡谷市は年度の途中で配布不可となったので、春・初夏編のみの配布となった。学校へのチラシ配布の状況が変わりつつある。塩尻市は、デジタルでの配信に切り替わっている。松本市は基本的には配布はしない方針となっていて、データでの配信はない。各学校にチラシを送り、学校判断によって配布してもらっている。岡谷市はメール配信となった。

・年間を通してスタッフ集めに苦戦した。新規スタッフを開拓したい。

1-4 塩嶺体験学習の家／受託事業：塩尻市教育委員会

(2011年度より継続事業)

内容：6月15日、9月7日

10月26日、2026年1月18日 こども未来塾リーダー研修の運営

こどもたちがもっと元気に輝く地域に



事業費：620,697円（委託）（↑46,882円）

会場：塩嶺体験学習の家

成果：・2011年度より継続して事業が実施してきた。当初より業務内容が変更になっており、こども未来塾リーダー研修のみをおこなっている。15年間実施してきた。

課題：・2026年度は市の予算がつかないこととなった。

1-5 こどもしおじり／受託事業：塩尻市市民交流センター

（2016年度より継続事業）

内容：

12月13日（土）・14日（日） 第9回こどもしおじりの開催

参加者数：157名（1日目 148名、2日目 149名）

専門家 1日目 51名 2日目45名

ガイドツアー参加者（保護者）：15人

当日スタッフ 1日目 52人（高校生37名、大学生5人 社会人10人）

2日目 50人（高校生37名、 社会人13人）

コアスタッフ 12名

準備スタッフ 1名

お仕事 36ブース、アカデミー 8ブース

事業費：1,438,800円（委託）（↑11,000円）

成果：・定員150名として開催し、アプリやWEB広報が中心となったが、参加者が集まった。

・2025年度も、過去にこどもしおじりに参加したことがある高校生がスタッフとして参加してくれた。スタッフの公式LINEを活用し情報を発信し、少し連絡調整が楽になった。

課題：・公式LINEで連絡をとりあったが、数名は連絡がうまくとれなかった。

・コアスタッフが少ないので増やしたい。活動経過をスタッフ用の公式LINEで見せていきたい。

1-6 里カフェぽっかぽか/主催事業

（2021年度より継続事業）

◆里カフェぽっかぽか

4月～3月 延べ22回（↓1回）

参加者 延べ106組233人（↓25組58人）

◆日程：

4月7日（月） 参加：3組6人

こどもたちがもっと元気に輝く地域に



4月16日（水） 参加：6組14人
5月8日（木） 参加：3組7人
5月21日（水） 参加：4組9人
6月2日（月） 参加：6組12人
6月18日（水） 参加：6組13人
7月10日（木） 参加者なしのため中止
7月16日（木） 参加：3組6人
8月20日（水） 参加：3組7人
8月28日（木） 参加：1組2人
9月5日（金） 参加：4組8人
9月17日（水） 参加：7組15人
10月2日（木） 参加：6組13人
10月15日（水） 参加：8組18人
11月6日（火） 参加：4組8人
11月19日（水） 参加：10組22人
12月17日（木） 参加なしのため中止
12月22日（水） 参加：6組12人
2026年1月15日（水） 参加：5組11人
2026年1月21日（火） 参加：5組11人
2026年2月6日（火） 参加：1組2人
2026年2月18日（水） 参加：4組9人
2026年3月10日（火） 参加：10組21人
2026年3月18日（水） 参加：5組7人

事業費：参加費：103,400円（↓22,400円）

（ボランティア活動補助金、補助 30,000 参加費収入 73,400円）

助成金：塩尻市社会福祉協議会 ボランティア活動補助金

成果：・4月から3月まで月2回のペースで通年実施した。庭で焚き火をしたり、近くの森に散歩に行ったり、水遊びや雪遊びなど、自然に触れる機会をもちながらのんびり過ごせ、良い雰囲気でも過ごしていただけている。

・第3水曜日は固定し、フードバンク事業をおこなった。何回かは、地域の方が野菜を持ってきてくれた。

・新しいスタッフが増えた。

課題：・参加者は減少した。継続して参加していた参加者は、年度が変わって保育園に通う子どもが多く、新年度は新しい参加者開拓が必要になる。保育園未就園児の無償化により、低年齢で保育園に通う子どもが増え、里カフェの卒業が早くなっている。

こどもたちがもっと元気に輝く地域に



- ・引き続き、第3水曜日はフードバンク事業を実施し、地域の人との関わりがもてるような機会になるきっかけづくりをしたい。

1-7 わおん♪自然ぶち探検隊/主催事業

(子どもゆめ基金助成事業/2022年度より実施)

5歳～小学校2年生までを対象に、ハイジの森で自然体験活動を実施する。

7月13日(日) 自然のなかでみつけよう!

参加者 こども13人 保護者10人 スタッフ4人

9月14日(日) いきものをさがそう!

参加者 こども8人 保護者7人 スタッフ4人

11月16日(日) 秋の森でアートしよう!

参加者 こども6人 保護者5人 スタッフ4人

2026年1月18日(日) 冬の森で遊ぼう!

参加者 こども11人 保護者4人 スタッフ5人

会場：げんすけの森柏茂交流会館、上小曾部転作促進研修センター

参加者：5歳～小学校2年生 延べ38人(↑14人)、保護者 延べ26人(↑15人)

スタッフ数：延べ17人(↓1人)

事業収益：197,526円(↑12,164円)

子どもゆめ基金114,808円(↓22,486円) 参加費収入82,720円(↑34,650円)

成果：・4年目の活動となった。昨年に比べて参加者が増えた。今年度は保護者が一緒に参加する家族が多かったため、スタッフ数は少なく済んだ。

課題：・昨年度から塩尻市内の小学校へチラシが配布できなくなり、アプリでの配信となっている。今年度は広報を見ての申し込みが一定数あった。子どもゆめ基金の要件はこどもの参加者10人以上だが、要件を満たすのはなかなか難しい。参加登録はこども22人だったが、体調不良や参加希望の回の参加の人もいて、各回の参加者数はあまり伸びなかった。

1-8 出前イベント/受託

日程：

5月23日・24日 安藤百福センターツリーハウスプロジェクト 内容：昔あそび

7月17日 梓川小学校 内容：自然素材での工作

8月11日 松本市エコスクール

8月18日 朝日村社会福祉協議会 内容：昔あそび

8月20日 山形村教育委員会 内容：自然体感プログラム

9月25日 二子小学校 内容：自然素材で簡単工作

11月2日 郷福寺 お寺マルシェ 内容：昔あそび

11月3日 まめまめの会 内容：森遊び、クッキング、ルームロンづくり

11月12日 二子小学校 特別支援学級 内容：自然素材で簡単工作

こどもたちがもっと元気に輝く地域に



2026年2月25日 移住関連イベント『体感する冬の塩尻』 内容：自然体験
2026年3月23日 山形村教育委員会 内容：昔あそび、自然素材で簡単工作

6月25日、7月23日、8月27日、10月8日、10月29日

11月12日、12月17日、2026年3月4日、25日（9回 ↓3回）

沢村児童センター 内容：昔あそび、運動遊び、外あそびの達人講座

事業収益：受託金額 588,826円（↑306,867円）

成果：・沢村児童センターからは、継続して年間を通じて依頼をいただいている。今年度は全部で9回実施した。

・学校からの依頼は、松本市内から3件（↑1件）だった。

・新規の依頼として、朝日村教育委員会と山形村教育委員会から声がかかった。

課題：・依頼元の状況や方針によって依頼数が変わってくるので、依頼があれば対応していくしかない。新しいところの開拓はなかなかできないが、いろいろな活動からのつながりで新規での依頼があるかもしれないので、地道に活動していく。

2：体験事業に関わる普及交流事業

2-1 マルシェの開催/主催事業

実施せず

2-2 各種交流会（げんすけBar、lunch、お茶会）

5月6日 ピザ会 参加者 大人10名、こども3名

成果：体験活動のサポーター不足を解消するためにも、わおんの活動に関心のある人が集まる機会を作ることが大事と考え、交流会を実施することができた。

2-3 出張げんすけ+げんすけ縁日/コラボ企画・ブース出展

日程：

10月11日（土） 森のフェスティバル

11月15日（土） まちづくりフェスティバル

11月15日（土） 外あそびフェスティバル

こどもたちがもっと元気に輝く地域に



ブースでの実施内容

クラフト（バードコールづくり、小鳥のキーホルダー、万華鏡づくり 500円）

たき火関係（スモア100円、焼きウィンナー100円）

クラフトグッズ、げんすけグッズの販売

事業収益（合計）：44,800円（↓16,900円）

内容：参加3回（↓1回）

成果：イベントに3回参加できた。森のフェスティバルは天候が悪く参加者は少なかった。

課題：日程があわなかった木育フェスティバルには参加できなかった。

2-4 全国森カフェプロジェクト推進チーム（出張森カフェ／コラボ企画）

日程：

9月23日・24日 長野市

10月12日 国営アルプスあづみの公園

2026年3月15日 国営アルプスあづみの公園

成果：継続して、国営アルプスあづみの公園で出張森カフェを実施することができた。参加した人に塩尻の森カフェを紹介し、参加につながった。

長野市より委託として森カフェの依頼があった。

課題：依頼があった時に対応できる人材の確保が必要。

2-5 関係ネットワークへの参加

◆信州外あそびネットワーク

山田勇 副代表を担当→1月から代表を担当

山田直美 事務局として会計を担当

※信州外あそびネットワークの住所をわおん内に置いている

◆木育フェスティバル実行委員会

9月20日-21日 木育フェスティバルは不参加

10月11日 森のフェスティバルに参加

※実行委員会に参加

◆地域づくりネットワーク

やまびこネットワークに加入

地域活性化センター賛助会員

◆松本地域子ども応援プラットフォーム

運営委員を担当

◆中信地区環境教育ネットワーク（eenet）

メンバーに加入しているが、今年度は活動にほとんど参加できなかった

こどもたちがもっと元気に輝く地域に



◆NPO法人自然体験活動推進協議会（CONE）

会員登録

CONE保険加入者ミーティング 欠席

2-6 体験拠点の管理 （2020年7月～所有）

◆げんすけの森柏茂交流会館

●修繕関係

お風呂の混合水栓が凍結により故障し修理した。

●その他

げんすけの森 柏茂交流会館のホームページの維持

<https://sites.google.com/npowaon.com/hakumo>

予約カレンダーの更新

●施設貸出

5月2日-5日	信州大学シミュレーションゲーム08会 日帰り・宿泊3泊利用 合計20名
7月17日	洗馬子育てサロン 日帰り利用
7月26日～27日	まつもとアートキッズ 宿泊・日帰り利用 合計33名
8月12日-13日	hontoのmanabi 宿泊・日帰り利用 合計29名
9月8日	信州外あそびネットワーク交流会 日帰り9人
10月3日	個人 宿泊1名
10月6日～11日	あおぞら園 宿泊利用11名
10月27日	松本大学 日帰り利用
11月3日	まめまめの会 日帰り利用、プログラム利用
11月9日	上小曾部区 13・14・15常会 会議日帰り利用
11月22日～23日	遠野会津野キャンプ会 宿泊利用13名
2026年2月8日	森林ファシリテーター交流会 日帰り5名利用

●備品貸出

施設利用時に備品の貸し出し 実績1回

わおんの主催事業の際に寝袋レンタルをおこなった

事業収益：405,610円（施設貸出）（↑32,450円）利用件数：12件（↑5件）

121,000円（備品貸出）（↑48,070円）

成果：・施設利用は12件あった。前年より5件増えた。

・施設利用とあわせてのプログラム利用が継続してあった。

・わおんの主催事業の際に寝袋レンタルを実施できた。

課題：水回りが古くなってきているので、一度点検ができるとうい。

避難訓練を行う必要があるが実施できていない。

こどもたちがもっと元気に輝く地域に



3：体験事業に関わる指導者育成事業

3-1 森カフェコーディネーター養成講座/主催事業

未実施

3-2 サポーター向け勉強会

2026/2/14-15 伊豆研修旅行 鉱石探しの研修を兼ねて

3-3 体験活動に関心のある人を対象にした勉強会

未実施

4：地域の情報収集発信事業

4-1 メールマガジン発行・公式LINE

●メールマガジン

2026年3月時点 登録 751人（↑89人）

月1回発行、お知らせがあるときは臨時号を発行

●公式LINE（2025年3月～）2026年3月時点 登録 63人（↑38人）

4-2 活動の動画配信

未実施

4-3 げんすけがゆくの発行

未実施

5：地域の物産開発ならびに販売事業

5-1げんすけグッズ/FR

げんすけのポロシャツやTシャツの追加注文をしなかった

◆塩尻市内の店舗での販売

木曽地場産センター

収益：3,000円（↑1,430円）

◆イベントでの販売

収益：0円（↓1,350円）

事業収益：3,000円（↓21,310円）

5-2こどもたちの元気の源「ブランド」づくり/FR

未実施

6：地域課題解決のための企画運営事業

こどもたちがもっと元気に輝く地域に



6-1 出前イベント（ワークショップ）

未実施

6-2 こども企画会議

8月17日、9月15日、11月22日、12月21日、1月10日、3月20日

こども若者いけんひろば

成果：昨年に引き続き、塩尻市こども未来課から「こども・若者いけんひろば」のワークショップの依頼があった。全8回のうち、6回を担当した。

こどもたちがもっと元気に輝く地域に



— NPO法人の運営 —

1：理事、事務局の対外的な活動

- ・講師

- ・委員会・会議出席

塩尻市社会教育委員（理事長 山田勇）

EP0中部協働コーディネーター（理事長 山田勇）

塩尻市環境審議委員（理事長 山田勇）

塩尻市社会福祉協議会評議員（事務局 山田直美）

- ・その他

市民タイムス リレーコラム「のんびりあそぼう」掲載（理事長 山田勇）

2：法人内での活動

- ・会議

◆総会 5月6日 通常総会 @柏茂交流会館

◆理事会 4月7日 理事会 @えんぱーく

- ・交流研修

2026/2/14-15 伊豆研修旅行

- ・広報

パンフレットの配布、X・Facebook・Instagramの更新

公式LINEの作成

- ・ファンドレイジング

げんすけグッズの販売

- ・会員

会員数

正会員 13人 / パートナー会員 個人12人 ・ 団体1団体

ユース会員 2名 / ジュニア会員 10人 / 賛助会員 0人

サービス

会員オリジナルげんすけカード（会員証）を発行

わおん♪会員通信を3ヶ月に1回発行

森カフェへの参加割引

こどもたちがもっと元気に輝く地域に



- **管理（顧客・備品・サポーター）**

会員管理をセールスフォースで実施中。

参加者管理 Notion

備品管理 Notion

サポーター情報を管理できるようにツールを検討中。

- **会計、税務**

引き続き、会計王を活用。

事務局は3ヶ月ごとにチェックした。

講師謝礼、給与に関して、源泉徴収を実施している（2016年1月～）

住民税は特別徴収を実施

PAYPAYの決済を導入（2019年8月～）

square決済の導入（2024年度～）

- **労務事務（法人事務）**

社会保険への加入（2015年12月～）

- **その他事務**

書類データ：Googleドライブ 写真データ：box

遠隔会議：google meet/zoom 、日々の情報共有：Slack →実施

顧客情報等：セールスフォース、Notion

備品管理 Notion

タスク管理：Evernote →実施

こどもたちがもっと元気に輝く地域に

